



「ウェルビーイングに関するアジア8ヶ国での 国際比較インタビューデータの整備と公開」

金井雅之（専修大学）

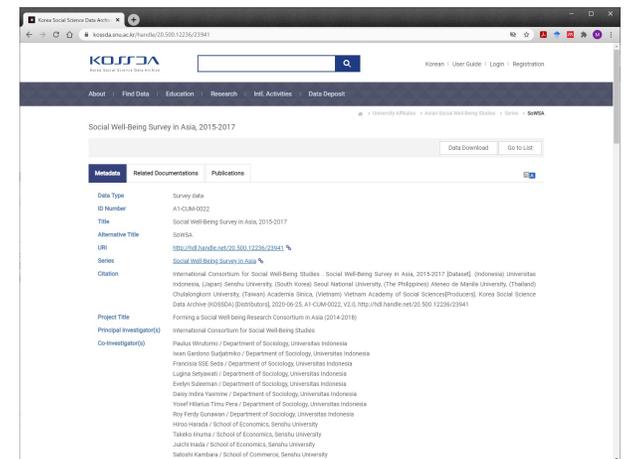
共同研究報告，第5回社会データ構造化シンポジウム
2021年3月4日，オンライン

共同研究の概要

タイトル	ウェルビーイングに関するアジア8ヶ国での国際比較インタビューデータの整備と公開
研究代表者	金井雅之（専修大学）
共同研究者	日本4名（うちROIS-DS教員3名） 韓国3，台湾2，モンゴル1，タイ2，インドネシア1，フィリピン2，ベトナム1
受入れ教員	前田忠彦先生
概要	2019～21年にアジア8ヶ国で実施するウェルビーイングに関する半構造化インタビュー調査データを，韓国社会科学資料院（KOSSDA）で研究者向けに公開するための整備をおこなう。
意義	このインタビュー調査は，2015～17年にアジア7ヶ国で実施し，2017～19年度ROIS-DS-JOINTの助成を得て2020年にKOSSDAでデータを公開したウェルビーイングに関する調査票調査（SoWSA）の回答者を対象とした混合研究法として設計されている。インタビュー調査データもKOSSDAで公開されれば，利用価値がさらに高まる。

Social Well-Being Survey in Asia (SoWSA)

- 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の一環として、日本、韓国、台湾、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムの7ヶ国で2015～17年に実施した国際比較調査票調査
- ROIS-DS-JOINT「アジア7ヶ国におけるウェルビーイングに関する国際比較調査データの公開に向けたデータと文書の整備」（2017～19年度）の助成を得て、2020年6月に韓国社会科学資料院（KOSSDA）で研究者向け一般公開
- 2021年2月までに972件のダウンロード

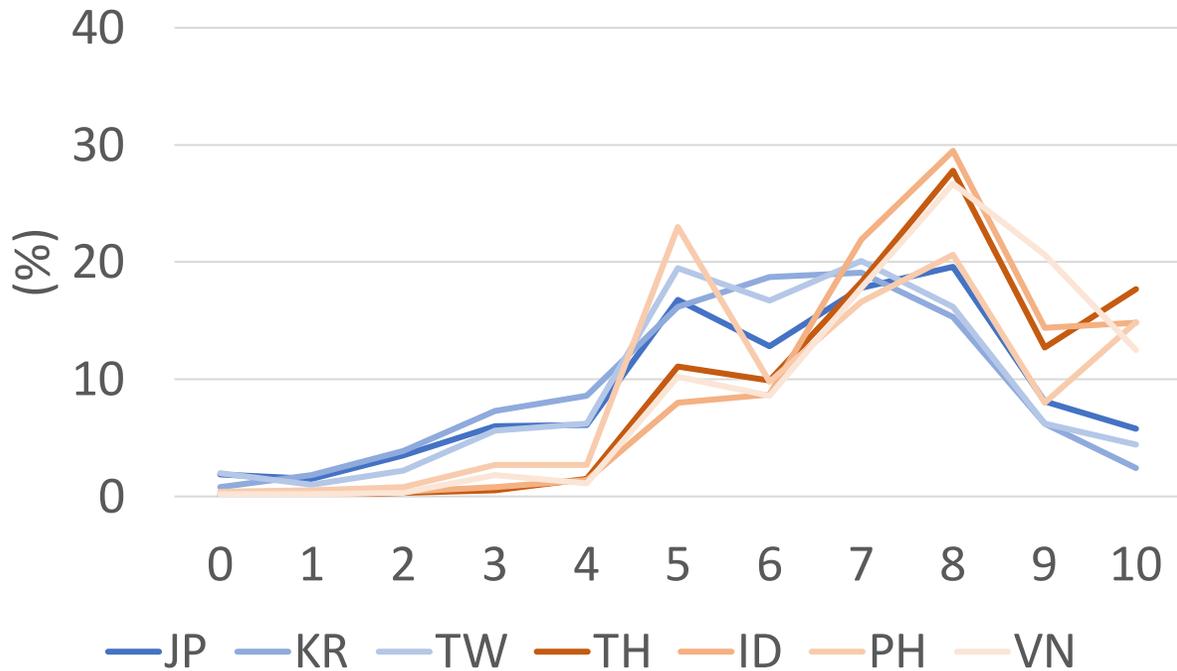


SoWSA 調査概要

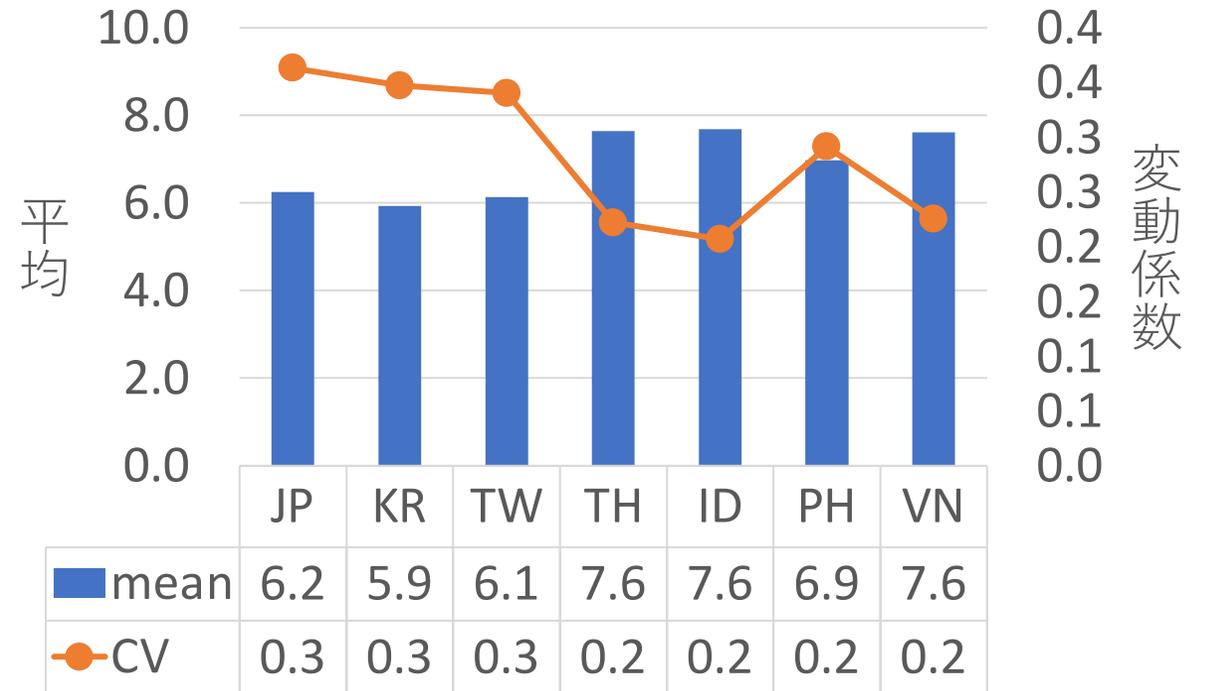
国	回収数	モード	実施時期	拠点機関
日本	11,786	ウェブ	2015年2月	専修大学
韓国	2,000	ウェブ	2015年7月	ソウル国立大学
台湾	2,303	ウェブ	2017年7月	アカデミア・シニカ
タイ	995	対面	2016年10-12月	チュラロンコン大学
インドネシア	1,248	対面	2017年7-8月	インドネシア大学
フィリピン	1,065	対面	2016年6-12月	アテネオ・デ・マニラ大学
ベトナム	1,094	対面	2015年7-12月	ベトナム社会科学院

分析例1：主観的幸福度の分布

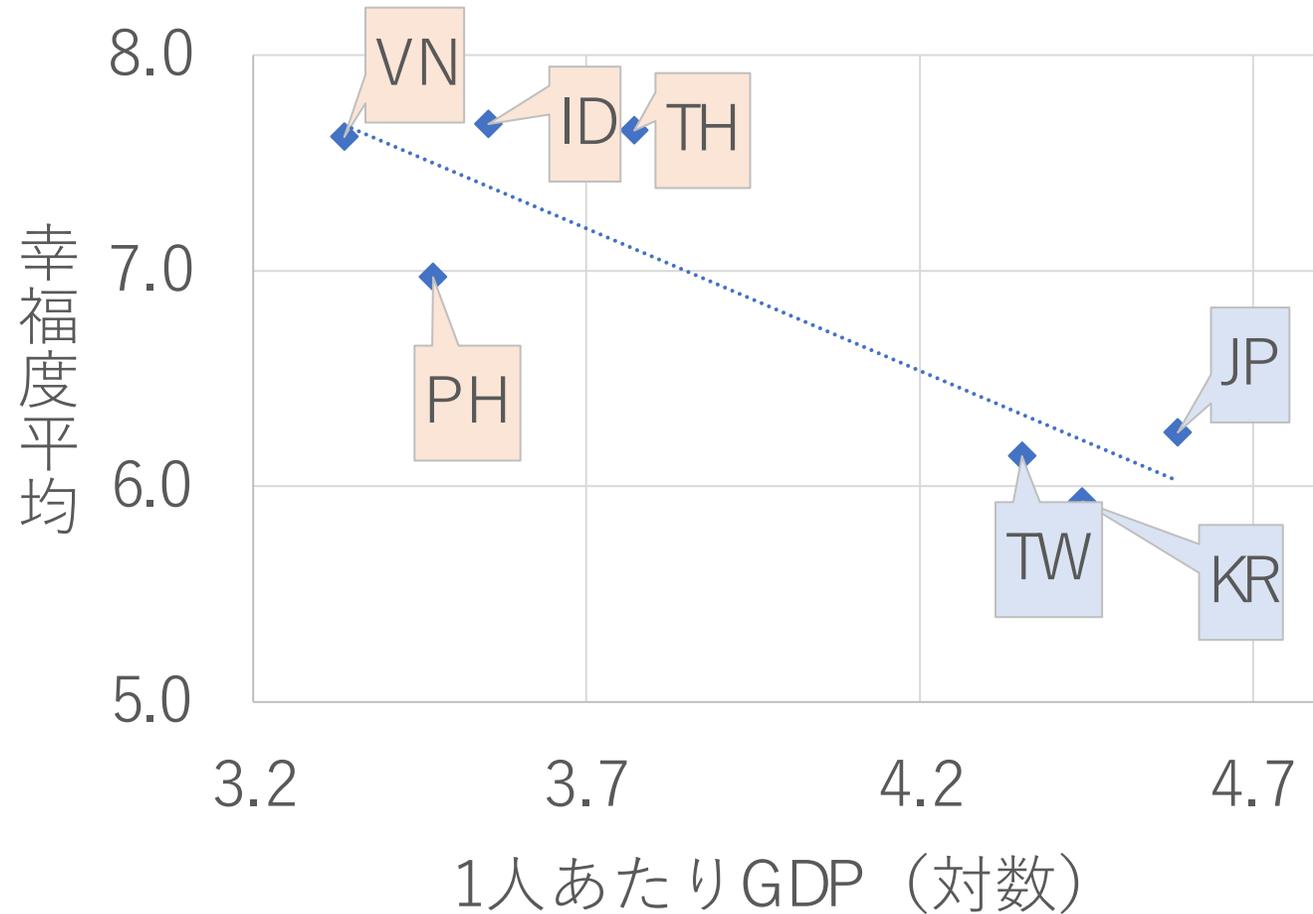
回答分布



平均と変動係数



分析例2：豊かさのパラドックス？



分析例3：幸福度の規定要因

	JP	KR	TW	TH	ID	PH	VN
男性	-	-					
年齢				-	-		
既婚	+	+	+	+	+	+	+
大卒	+		+			+	+
就業	-			+			
世帯所得	+	+	+	+	+	+	
調整済R ²	.124	.065	.045	.026	.072	.026	.045
N	10,421	2,000	2,291	938	1,193	1,055	1,050

幸福度を従属変数とするOLS回帰分析。5%有意の係数のみ。
世帯所得は国ごとに第1四分位～第3四分位を用いて4群に分類。

SoWSA データ整備での主な課題

- 調査票の設問項目などの不統一
 - 標準調査票におけるダブルバーレルなどの不備
 - 各国固有の問題関心
- 社会経済的地位のコーディング
 - 教育, 職業, 所得, ...
 - 国際標準分類 (ISCO, ISCED) はあるものの...
- 作業負担の特定の組織や人への集中
 - KOSSDA, ...
 - コミュニケーションの滞り

ウェルビーイングに関する 国際比較インタビュー調査

調査名	Happiness across the Life Course in eight Asian Countries
調査方法	共通プロトコルに基づく現地語での半構造化インタビュー
実施国	日本, 韓国, 台湾, モンゴル, タイ, インドネシア, フィリピン, ベトナム
対象者	性別 (男/女), 年齢 (40-59歳/60-69歳), 居住地域 (都市部/村落部), 幸福度 (低/中/高) を組み合わせた24名ずつを割当抽出
主な質問項目	<ul style="list-style-type: none">• 人生で「最も幸福だった時期」と「最も不幸だった時期」• それらの時期における社会関係資本 (家族, 地域社会, 職場の同僚, 橋渡し型社会集団, 政府) の役割• 人生における幸福度の推移とその理由
研究資金	科研費基盤研究(B) (2019-21年度) 「アジア型ウェルビーイングの社会的メカニズムを解明する国際共同研究」

インタビュー関連書類（日本調査）

研究のご説明

人生のあゆみと幸福についてのアジア 8ヶ国インタビュー

1. 研究の目的

この国際共同研究は、日本を含むアジアの 8 つの国における人びとの幸福感の特徴と多様性を、インタビューを通じて明らかにすることを目的とする。純粋な学術研究です。とくに、これまでの人生における家族や地域や職場の人びととの関係や、政府・自治体の政策などが、人びとの幸福感をどのように高めたり損ねたりするのかに着目します。

2. インタビューの内容

この研究にご参加くださる方には、これまでの人生でのご経験と、それぞれの時点での幸福感についてのインタビューをおこないます。お話しいただいた内容は、録音するとともに、メモをとらせていただきます。

3. 研究へのご参加のメリットとデメリット

お話しくださった内容は、科学的な方法で分析し、アジア各国において人びとの幸福をさらに向上させるための政策提言に役立てられます。一方、インタビューに参加することで生じるかもしれないデメリットとしては、万一これまでの人生でつらい経験をされてきた場合に、そうした出来事を思い出すことで、精神的な負担を感じる可能性があります。

4. インタビューを途中でやめる権利

インタビューの中で答えたくない質問があったとき、参加者はいつでも回答を断ったり、インタビュー自体の中止を求めたりすることができます。いずれの場合でも、理由を説明する必要はなく、不利益もありません。

5. データの利用方法

回答者の個人情報（氏名、郵便番号、電話番号、メールアドレス）

日本でのインタビューを担当する（補足資料 1 の）研究者のみで共有され、参加者とのあいだで必要な連絡のために 2022 年 3 月 31 日まで保存されます。それ以降は、安全な方法で廃棄されます。

1

研究説明書

インタビュー参加の同意書

人生のあゆみと幸福についてのアジア 8ヶ国インタビュー



日本インタビュー責任者:
 金井雅之（専修大学人間科学部社会学科・教授）
 〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1
 電話：044-911-0595 Fax：044-900-7814
 電子メール：mkanai@senshu-u.jp

チェックしてください

- 私は、別紙「研究のご説明」を読んで理解し、不明な点を質問する機会を得ました。
- 自らの意思で研究に参加し、いつでも自由にインタビューをやめることができることを理解しました。
- インタビュー中に過去のつらい出来事を思い出さず、精神的な負担を受ける可能性があることを理解しました。
- 名前、住所、電話番号、メールアドレスなど個人を特定できる情報が収集され、指定された研究者に共有されることを理解しました。
- 私は、この研究に参加することに同意します。

チェックしてください

はい いいえ

- インタビューでの発言内容がメモされることに同意します。
- インタビューでの発言内容が録音されることに同意します。
- 匿名化されたインタビューでの発言内容が、日本および海外の共同研究メンバーに共有されることに同意します。
- 匿名化されたインタビューでの発言内容が、公表・出版されることに同意します。
- 匿名化されたインタビューでの発言内容が、今後の関連する研究に役立つよう研究データ貸出機関に寄託されることに同意します。

参加者氏名 _____ 日付 _____ 署名 _____

研究者氏名（主インタビューワ） _____ 日付 _____ 署名 _____

回答者 ID:

同意書

6. 人生における幸福度の変化

- なるべくこの表を回答者にも見てもらい、過去の出来事をスムーズに思い出せるようにしてください
 - 最初に、回答者の出生年に合わせて、西暦年を大まかに埋めてください
 - 1 歳刻みで細かく聞いていく必要はありません。幸福度が変化するタイミングを確認していただく
 - ある程度大まかな期間の中で、特筆すべき時期がないかどうかを再度確認してください。たとえば「20～26 歳までの初職の期間中の幸福度は 4 だが、24 歳で父が亡くなったときは 2 に下がった」など。

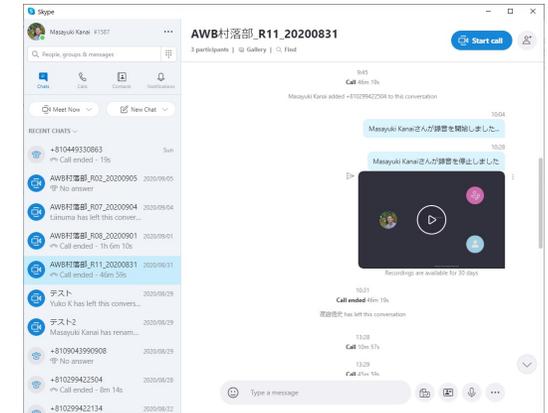
年	年齢	幸福度 (5=幸せ)					幸福度の変化の理由
19	10	5	4	3	2	1	
	11	5	4	3	2	1	
	12	5	4	3	2	1	
	13	5	4	3	2	1	
	14	5	4	3	2	1	
	15	5	4	3	2	1	
	16	5	4	3	2	1	
	17	5	4	3	2	1	
	18	5	4	3	2	1	
	19	5	4	3	2	1	
	20	5	4	3	2	1	
	21	5	4	3	2	1	
	22	5	4	3	2	1	
	23	5	4	3	2	1	
	24	5	4	3	2	1	
	25	5	4	3	2	1	
	26	5	4	3	2	1	
	27	5	4	3	2	1	
	28	5	4	3	2	1	
	29	5	4	3	2	1	
	30	5	4	3	2	1	
	31	5	4	3	2	1	
	32	5	4	3	2	1	
	33	5	4	3	2	1	
	34	5	4	3	2	1	
	35	5	4	3	2	1	
	36	5	4	3	2	1	
	37	5	4	3	2	1	
	38	5	4	3	2	1	
	39	5	4	3	2	1	

7

インタビュー調査票

コロナ下での電話インタビュー（日本）

1. Skypeでチャット会議室を開設
2. インタビュワー（＝研究者）を会議室に招待
 - ✓固有のURLを知らせるか，アカウントを検索して登録
3. インタビュー開始前に，インタビュワーはPCから会議室に参加（無料）
4. 会議室を開設した人が対象者の固定電話／携帯電話に架電（Skypeクレジット利用）
5. 対象者につながれば，会議室に参加しているすべてのインタビュワーと対象者の間で，自由に通話が可能
6. Skypeの組み込み機能で会話内容の録音も可能
 - ✓1か月間はSkype上でいつでも再生可能
 - ✓MP4動画ファイルとしてダウンロードも可能



2021年2月時点での進捗

国	計画対象者数	実査完了数	英語トランスクリプト完成数
日本	24	20	11
韓国	24	24	24
台湾	24	24	0
モンゴル	24	24	12
タイ	24	0	0
インドネシア	24	24	24
フィリピン	24	0	0
ベトナム	36	36	12

トランスクリプト例

AWB Japan 2020 (Rural)
R05
Male, Senior-age, Rural, Middle-happiness

✓ Copy from Interview Summary

Date and Time	Sep 15, 2020, Tue, 10:15 ~ 12:15
Venue	Meeting room in Tsuchiura city
Interviewers	Interviewer A (Masayuki Kanai)
Notes	

- ✓ English transcript in the middle column. Local-language transcript in the right column.
- ✓ Preserve actual sequence of the conversation.
- ✓ In local language version, preserve actual wording as much as possible, including non-verbal information such as (pause) and “Umm...”. Dialect and/or slung which indicate the interviewee’s socio-cultural background or social class should also be preserved as much as possible.
- ✓ In English version, you may simplify the original expressions for non-native readers to understand the logic of interviewees’ narratives. If the interviewee used special dialect or slung, simply note it at the beginning of the English transcript.
- ✓ Use purple for the text of interviewers.
- ✓ Use “interviewer:” for interviewer’s talk. If there were more than one interviewer, use “Interviewer A:” and “Interviewer B:” if necessary.
- ✓ Use “Uxx:” (interviewee’s ID) for interviewee’s talk. Use “new line” (=Shift + Enter) instead of “new paragraph” (=Enter) within a talk.
- ✓ Insert tab character just after “Interviewer:” and “U01:”. This is convenient for the data users to transfer the text to Excel or other professional software.
- ✓ Refer to “sample” for detailed format.

1.1 Demographics	(English) Interviewer A: Okay, so what you have at hand is the survey sheet for this interview. You don’t have to fill it out; this is just so that you can see what we will be asking you. R05: I understand. Interviewer A: Okay, let’s see. Then to begin with, please allow me to ask some questions about you, R05.	(Local language) Interviewer A: はい。えーとそれではあのお手元ですね、これですね。インタビュー調査票。あのお書きにならなくても大丈夫です。こういう内容で聞いていきます、という確認用ですね。 R05: 承知しました。 Interviewer A: はい、えーと、それでは、まず最初にえー、R05 さんのご本人のことについて、少し確認させてください。
---------------------	---	--

1

日本 (R05)

AWB South Korea 2020 (Rural)
R05
Male, Senior, Rural, Middle-happiness

Date and Time	January 20, 2020, Mon, 16:00 ~ 17:30
Venue	Seo-Han Church
Interviewers	Hyeran-Koo
Notes	

1.1 Demographics	Interviewer: Well, I’m going to ask you about your personal life, your family, and then I’m going to ask you about the happiest, the unhappiest moment of your life. Then there will be a few more questions, and I’ll try to move on as quickly as possible. Uh, sir. You said you were born in ‘54. So, how old you are now? R05: By year of birth is officially ‘54. Interviewer: Uh, so how old are you now? Are you 65? R05: Sixty-six. Interviewer: Sixty-six. Where were you born? R05: Here. Interviewer: Oh, Ganghwa Island or Gyodong Island? R05: Seohan-li, Gyodong Interviewer: Oh, in Gyodong? Were you born and grown up here? Oh, yeah. Have you ever changed your neighborhood? R05: No.	Interviewer: 아 제가 물어볼거는 선생님 인적사항하고 가족사항들 하고 그 다음에 이제 물어볼 게 아 가장 행복했던 시기에 대해서 여쭙거고, 가장 불행했던 시기에 대해서도 여쭙습니다. 예 그리고 나서 이제 몇몇개의 질문이 더 있는데요 가능하면 제가 빨리 진행을 하도록 하겠습니다. 예. 어. 선생님 지금 아까 54 년생이시라고 했으니까 연세가 R05: 행정적으로 54 로 돼있어요. Interviewer: 아 그러면 지금 연세가... 65 이신가요? R05: 여섯이죠. Interviewer: 예순 여섯이요. 아 한국 나이로 예순 여섯. 혹시 어디서 태어나셨어요? R05: 여기서요. Interviewer: 아 강화도? 아니면 교동? R05: 교동 서한리 Interviewer: 아 교동에서? 여기서 계속 나고 자라고 그러셨던거예요? 아 예. 그러면 지금도 여기에 교동에서... 네... 혹시 동네를 바꾸신 적은 없으세요? R05: 없어요
---------------------	---	--

1

韓国 (R05)

今後の予定

- 日本調査のトランスクリプト作成
- 全体ミーティング（2021/3/28, オンライン）
 - 各国調査の実施報告
 - 分析／研究成果公表方針の検討
 - データ整備方針の確認

謝辞

- 本研究はROIS-DS-JOINT（028RP2020, 022RP2019, 003RP2018, 002RP2017）およびJSPS 科研費19H01570の助成を受けたものです。
- International Consortium for Social Well-Being Studies. Social Well-Being Survey in Asia, 2015-2017 [Dataset]. (Indonesia) Universitas Indonesia, (Japan) Senshu University, (South Korea) Seoul National University, (The Philippines) Ateneo de Manila University, (Thailand) Chulalongkorn University, (Taiwan) Academia Sinica, (Vietnam) Vietnam Academy of Social Sciences [Producers]. Korea Social Science Data Archive (KOSSDA) [Distributors], 2020-06-25, A1-CUM-0022, V2.0, <http://hdl.handle.net/20.500.12236/23941>